

学校教育目標 『命を大切に、たくましく生きる心豊かな生徒の育成』 ○進んで学ぼう ○強い体力をつくろう ○礼儀を守り、責任をもとう	<今年度の研究目標> 「表現力をつける～子どもが表現できる授業づくり～」
--	---



# 六中だより




保護者・地域とともに  
 令和6年度 3月発行 吹田市立第六中学校 吹田市穂波町16番1号  
 電話:6386-0812 FAX:6386-4815 HP <https://www.suita.ed.jp/school/jhs/05-dairoku/>

春の訪れとともに、三月を迎えました。今年度も残すところわずかとなりました。

三年生の皆さん、いよいよ卒業の日が近づいてきました。中学校生活の集大成として、最後の一日まで、一瞬一瞬を大切に過ごしてください。これまでの歩みの中で、喜びも悔しさも、挑戦も仲間との支え合いもあったことでしょう。そのすべてが、皆さんを大きく成長させた証です。3月14日は、皆さんのこれまでの努力と想いが形となる、特別な一日です。どうか、最高の形で締めくくり、新たな道へと自信をもって進んでください。

一・二年生の皆さんは、新しい学年への進級が目前に迫っています。この一年で、皆さんは大成したことと思います。家族、友達...、その言葉に耳を傾けることで、新たな視点を得ることが出来ます。対話することに勇気が必要な場面もありますが、ぜひチャレンジしてほしいと思います。また、時には一人で深く考えることも大切です。自分自身と向き合い、何を大切にしたいのか、どんな自分でありたいのかを考える時間を持ちましょう。その積み重ねが、皆さんをより強く、よりしなやかにしてくれるはずですが、周りもよく見て、辛い思いをしている仲間がいたら、寄り添える人であってほしいと思います。

私たちは決して一人で成長してきたわけではありません。学校生活の中で、いつもそばで見守り、支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様の温かい応援がありました。その存在に改めて感謝の気持ちを抱きながら、それぞれの未来へ進んでいきましょう。全力で応援しています。

<保護者・地域の皆様へ>

今年度も残りわずかとなりました。この一年間、保護者の皆様、地域の皆様には、学校教育への深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。学校行事へのご協力、日常のさまざまな場面でのお力添え、そして何より、お子様を信じ、見守り続けてくださったことが、子どもたちの成長の大きな原動力となりました。

皆様の変わらぬご協力に感謝するとともに、子どもたちの未来がより輝かしいものとなるよう、学校としても全力で努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 須藤 渉

年度の締めくくりである3月を迎えました。この一年はあなたにとって長かったのか、短かったのか。この感覚はひとによってさまざまだと思います。でも、経過した時間は誰にとっても同じ。ある人にだけ、一年が400日あるなんていうことはないですよ。どんな人にも、一時間は60分、一日は24時間と時間は平等です。『時間だけは神様が平等に与えて下さった。これをいかに有効に使うかはその人の才覚であってうまく利用した人がこの世の中の成功者なんだ。』HONDAの創業者、本田宗一郎さんもこのような名言を残しています。年度初めに掲げたクラスや学年の目標は達成できそうですか。クラスや学年の仲間の顔を思い浮かべながら、今一度振り返ってみましょう。もう少しがんばれたかも...という人、一日一日を大切に、今の自分ができる最大限のことをやり切ってください。特に3年生、いくつもの日々を越えてたどりついた今、この三年間をともに歩んできた仲間との時間を意識しながら、卒業に向けて残りわずかな中学校生活を悔いのないように過ごしてください。

児童生徒支援コーディネーター 亀田 朗子

【今後の予定 ※あくまで現段階での予定です。変更があることをご了承ください。】

【3月の予定】	【4月の予定】
3日(月) 特別選抜 発表 5日(水) 地域あいさつ運動 各種委員会(後期振り返り) 一般選抜 出願(~7日(金)) ※オンラインで実施します。 10日(月) 3年生は4時間(~13日) 1,2年生は5時間(~12日) 12日(水) 一般選抜(学力検査) ※1,2年生は5時間 13日(木) 卒業式予行 ※1,2年生は3時間 14日(金) 第54回 卒業式 ※1,2年生は休み 17日(月) 生徒会選挙 5時間授業(~21日) ※年間計画に基づく 18日(火) 2年生 球技大会 19日(水) 1年生 球技大会 21日(金) 一般選抜 発表 24日(月) 修了式	8日(火) 第57回入学式、始業式 9日(水) 対面式、クラス写真 10日(木) 身体測定 11日(金) クラブ活動仮入部開始(~18日まで) 離任式 16日(水) 給食開始 全国学力学習状況調査①(3年生) ※PCを活用した調査です。 必ず、PCを持参すること。充電の確認もしておいてください。 17日(金) 全国学力学習状況調査②(3年生) 23日(木) 各種委員会 以下の内容も予定しております。 日程が決まり次第、お伝えします。 ・オープンスクール ・3年生修学旅行説明会

【SJMFに出演決定】

本校の音楽部が吹田市主催の音楽祭に出演が決まりました。会場及び出演予定時間・曲目は下記の通りです。お時間ご都合がよろしければ、会場までお越しください。

会 場: **メイシアター(大ホール)**

日 程: **3月20日(木・祝) 開 場: 12:00 開 演: 12:30**

曲 目: **群青(YOASOBI)、感電(米津玄師)**

※六中の出演時間は **12時55分~13時05分**です



## 【教職員も学ぶ ～吹田市中学校教育研究会～】

2月19日(水)に吹田市学校教育研究会主催の講演会がありました。サッカーJ1リーグFC東京の社長を歴任され、現サッカー日本代表の久保建英選手の育成にも関わった阿久根 謙司(あくね けんじ)さんを講師にお招きし、『木の上に立って見ましょ～生徒の自立を引き出すコーチング～』というテーマでご講演いただきました。“オープクエスチョンとクローズドクエスチョン”“オートクライン”“子どもの自立”“コミュニケーションマインド”などの様々なキーワードとともに具体的なエピソードも交えての講演でした。

“子どもが自立する”ためのカギは“教職員からのアプローチ方法の変換”が重要なポイントだと感じました。子どもに対してどのような態度で接するのか。どのような問いかけをしていくのか。ここを意識し、常にアップデートしていくことが我々の役割だと強く思います。『コーチング』についてご興味があれば、ぜひ調べてみてください。

### <オープクエスチョン>

「はい」「いいえ」では回答できない質問

- ・なぜAなのですか?なぜBなのですか?
- ・この映画を見てどう思いますか?
- ・どのように頭が痛いのですか?

### <クローズドクエスチョン>

「はい」「いいえ」で回答できる質問

- ・Aですか?それともBですか?
- ・この映画はおもしろかったですか?
- ・頭が痛いのですか?

### <オートクライン>

コーチングにおけるオートクラインとは、自分が話した内容を自分の耳で聞くことで、自分の潜在的な欲求や考えに気づけるようになる。

### <コミュニケーションマインド>

子どもの話に根気よく耳を傾け、気持ちに共感し、否定せずに最後まで聴く。

## 【2011.3.11 東日本大震災 ～あれから14年～】

1月20日(月)の日本教育新聞の一面に阪神淡路大震災についての記事が掲載され、その見出しが、“教職員も震災後生まれに”というものでした。阪神淡路大震災から30年。生徒たちとともに避難訓練をおこない、災害時の状況や避難方法を教えていく立場である私たちも世代交代が進みました。当時の模様をどのように伝承していくのかを考えていかなければいけません。

第六中学校では、集団下校訓練も含め、年間3回の取り組みをおこなっています。1月17日(金)に実施した訓練では普段の訓練から状況を変え、教室以外で活動していた場合、担任の先生以外が指示役だった場合を想定しておこないました。教職員、生徒のみなさんはどのような感想を持ってくれたのでしょうか。自然災害についてはいつ発生するかはっきりとはわかりません。だからこそ訓練をするのですが、避難訓練だけではその先の出来事に対応することは難しいこともあります。だからこそ当時の模様(震災後の避難所生活や復興までの道のり)を伝承していくことが重要なのです。私たち教職員一同もこの出来事をしっかりと伝承できるように常に防災に関しては知識をアップグレードさせていきます。私たち教職員だけでなく、生徒のみなさんも“伝承していく人”になれるように、ご家庭でも話題に挙げていただければと思います。

## 【水について考える】

先日、高知県で開催された『高知竜馬マラソン 2025』に参加してきました。当日は約10,000人のランナーが42.195km完走を目指してスタートしました。20km地点にある「浦戸大橋」は高低差が50mもある長い登り坂になっており、ランナーに厳しい試練を与えます。そこを過ぎると太平洋が目の前に広がり、桂浜を横目に走ります。何度も歩いてしまいそうな場面がありましたが、その都度助けてくれるのが、「給水」です。今回のコースには15か所もの給水所が設置され、ランナーのサポートをしてくれました。人が様々な活動をするときの“水”の重要性を改めて感じた瞬間でした。ただ、私たちが当たり前前に飲める水も、環境によっては当たり前前の物ではなくなり、水を確保するためには今回のマラソンのように、いくつもの困難を乗り越えなければ手に入らない現実もあります。そんな大切な“水”について考えてみませんか?(教頭:船橋)



### 1. メインテーマ「水について考える」(題名は自由)

水は、地球上の全ての生命の源であり、特に私たちの生活の営みや農業・工業等にとって不可欠なものです。一方、水は「恵み」の一面もあれば、豪雨や洪水、渇水などの「災い」という一面もあります。また、私たちの暮らしは、水によって支えられていますが、地球上の水は無限ではありません。私たち一人一人が水循環の重要性を理解し、水との関わり方を学んで、水の恩恵を享受し続けるために、何をすべきか考えることが重要です。あなたにとって、水とはどんなものですか?暮らしの中での体験や授業で学んだこと、調べたことをもとに、水についての考えを作文にまとめてみませんか?

### 2. 応募資格 令和7年度に在学中の「中学生」(中学生と同じ学齢の方を含みます。)

### 3. 原稿 400字詰原稿用紙4枚以内で日本語により表記された自作未発表の個人作品に限ります。

なお、生成AIによる生成物は認められません。

### 4. 募集期間 令和7年4月1日(火)～令和7年5月2日(金)必着 [到着分有効]

### 5. 応募方法 作文本文の前(原稿用紙枠内)に、「題名」、「学校名」、「学年」、「氏名(ふりがな)」を必ず記入し、次の宛先まで送付して下さい。応募にあたっては、「応募票」に必要事項を記入し、作文とともに次の宛先まで送付して下さい。※「応募票」については教頭まで

「応募票」

・学校単位応募の場合:別紙様式1「応募票(学校応募用)」

・個人応募の場合:別紙様式2「応募票(個人応募用)」

[宛先]〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目

大阪府 政策企画部 企画室 推進課「全日本中学生水の作文コンクール」担当 あて

## 【学割の申請について】

春休み中に遠方に行かれる場合の『学割』については、3学期の終業式までに申請していただくようお願いします。即日発行とはいかない場合もありますので、事前にお子さまを通して各担任までお申し出いただくか、保護者様から教頭までお問合せください。

ご利用条件といたしまして、JRの利用区間が片道100kmを超える場合であること、購入の際や利用時に生徒手帳を携帯することが必要です。よろしくお願いいたします。

